



# 小学校高学年《5・6年生》のみなさんへ

## 冬休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2023年版]

	書名 作者名 出版社	内容		書名 作者名 出版社	内容
図書	<b>「学園ミステリー」</b>  恩田 陸 著 米澤 穂信 著 青崎 有吾 著 汐文社	さまざまな友情・対立、そして愛情が生み出される学校の中で、とうとう事件が起きてしまい…。学園をテーマにした大人気作家のショートストーリー3編が厳選して収録されています。ミステリー初心者にも読みやすい作品です。	図書	<b>「めざせ、イグ・ノーベル賞!？」</b>  おもしろ自由研究 3 社会・科学 沼田 晶弘 監修 汐文社	イグ・ノーベル賞とは「人びとを笑わせ、おどろかせた」研究や出来事にあたえられる賞です。タマネギを切っても涙(なみだ)が出ない方法や、洗たく物が一番早くかわく方法など、自由研究のヒントになりそうなものが見つかるかも知れません。クスツと笑えて、やってみたくなる研究がいっぱい！
図書	<b>「時代をきりひらいた日本の女たち」</b>  小杉 みのり 文 落合 恵子 監修 岩崎書店	かつて時代を切り開きながら、自分の可能性と生きる道を見つけるために奮闘(ふんとう)した日本の女性たちがいました。教育者の津田梅子、科学者の猿橋勝子、アイヌ文化伝承者(でんしょうしゃ)の知里幸恵など、志を高く持ち生きた31名の物語を伝えています。	図書	<b>「囚われのアマル」</b>  アイシャ・サイド 作 相良 倫子 訳 さ・え・ら書房	現代のパキスタン。学校の先生になりたいと夢見ていた12才のアマルは、父の借金のため大地主一族の屋敷で使用人になり、将来も自由もうばわれてしまいました。「こんな世の中、おかしい。」とあきらめず、差別や偏見(へんけん)とたたかう少女の物語です。
図書	<b>「ごみ育」</b>  日本一楽しい ごみ分別の本 滝沢 秀一 著 太田出版	保冷剤(ほれいざい)はどうやって捨てるの？ 生ごみの80%は何でできる？ ごみを減らす方法って？ ごみ清そう員であり芸人でもある滝沢秀一さんがごみ分別の基本と、未来のごみとの付き合い方をやさしくしょうかいしています。	図書	<b>「エジプト神話」</b>  橋 伊津姫 編著 汐文社	世界四大神話の一つであるエジプト神話の中で宇宙創造のエピソードや、王の権力と深く結びついた時代の最高神、ラー、ホルス、オシリスなど古代エジプトの神様をしょうかいしています。ミイラの作り方の解説ものっています。
図書	<b>「こども六法」</b>  山崎 聡一郎 著 伊藤 ハムスター 絵 弘文堂	法律は私たちの自由と安心を守るために決められたルールです。人にきずつけられたり、人をきずつけてしまった時、自分で自分の身を守るための手段になります。法律について、わかりやすい言葉と、可愛いイラストで解説しています。	図書	<b>「虹いろ図書館のへびおとこ」</b>  櫻井 とりお 著 河出書房新社	小学6年生の火村(ひむら)ほのかは、転校した町でポロい図書館にたどり着きました。いじめをきっかけに学校から足が遠のいてから、その図書館に通うようになっていくと、不思議な図書館員のイヌガミさんや、ナゾの少年富田くん、そして多くの本に出会い、世界が少しずつ広がっていくのです。
図書	<b>「オリヒメ」</b> 人と人をつなぐ 分身ロボット  吉藤 オリィ 著 加藤 悦子 文 子どもの未来社	体を自由に動かすことができない人たちの「分身」となってくれるロボットの「オリヒメ」を作った吉藤オリィさんですが、始まりは車イスの研究からでした。使う人の「こうしたい！」を形に変えて、いろいろな人の夢をかなえていき、外出できない人でも働くことができる「分身ロボットカフェ」をオープンさせました。	図書	<b>「博物館の少女」</b>  怪異研究事始め 富安 陽子 著 偕成社	古物商のむすめの花岡イカルは両親を亡くし、東京の親せきの家へ行くことになりました。用事で博物館を訪れた時、目利きの才能を認められ怪異(かいい)の研究をしている老人を手伝うこととなりますが…。不思議な事件に巻きこまれ、深まるナゾにせまります。